

令和7年
8月1日

No.262

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

古ヶ崎

スケートボードパークがオープン!



草木 ひなの 選手



村井 海斗 選手



本橋 瞭 選手

令和7年4月19日、古ヶ崎河川敷スポーツ広場に市内で2カ所目となる市営スケートボードパークがオープンしました。初心者から中級者を対象とした6基のセクションが設置されており、どなたでも無料で利用できます。

オープニングセレモニーでは、パリ2024オリンピックスケートボード女子パーク日本代表の草木ひなの選手をはじめ、プロライダーによるデモンストレーションやスケートセッションが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

●問い合わせ先 スポーツ振興課スポーツ施設担当室
TEL 047(703)8508



施設利用案内



オープニング
セレモニーの様子

市議会トピックス

●令和7年度松戸市一般会計補正予算（第3回）を可決

補正額 2億4,250万9千円

※詳細は3面に掲載しています。

意見書1件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、以下の意見書を提出しました。

- 地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

人事案件

副市長および監査委員の選任に同意しました。

- 副市長
- 監査委員

(敬称略)
小 玉 のり ひこ
み 玉 よし 典 彦
三 好 徹

6月定例会

令和7年6月定例会を6月18日から7月2日まで開催しました。今定例会では、初日に松戸隆政市長から就任挨拶が行われ、その後、市長から提出された専決処分3件の報告を承認し、副市長および監査委員の選任議案各1件に同意しました。

このほか市長から提出された補正予算を含む一般議案等6件をそれぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに、議員提出議案5件を上程し、採決しました。

(2面に審議結果、3面に委員会の質疑を掲載)
なお、35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

6 月 定 例 会 審 議 結 果

■賛否など態度が分かれた市長提出議案

賛否などの態度決定に至った理由等は、市議会ホームページに掲載しています。

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	市民クラブ										公明党										政策実現 フォーラム・社民				日本共産党				まつどみらい																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
----	----	--------	--------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------------------	--	--	--	-------	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

○：賛成 ×：反対 議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。

■全会一致の市長提出議案

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果
第1号	専決処分の報告及び承認（松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定）	—	承認	第6号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決
第2号	専決処分の報告及び承認（令和7年度松戸市一般会計補正予算（第1回））	—	承認	第7号	市長の給与の特例に関する条例の制定	総務財務	可決
第3号	専決処分の報告及び承認（令和7年度松戸市一般会計補正予算（第2回））	—	承認	第8号	契約の変更	教育環境	同意
第5号	松戸市議会議員及び松戸市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	諮問第1号	下水道使用料賦課決定処分に対する審査請求に係る諮問	総務財務	異議のない旨 答申

■議員提出議案

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第1号	暮らしを守るために緊急に消費税を減税するよう求める意見書	—	否決	多数意見	第4号	日本学術会議の改正法の廃止を求める意見書	—	否決	多数意見
第2号	高額療養費制度の自己負担限度額を据え置くよう求める意見書	—	否決	多数意見	第5号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	—	可決	全会一致
第3号	物価上昇に見合う年金支給額の引上げを求める意見書	—	否決	多数意見					

議員の寄付行為の禁止

政治家（後援団体）が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは法律で禁止されています。

また有権者が政治家に寄付を求めることも禁止されています。
たとえば

- お祭りや運動会など地域の行事への寄付や差し入れ（催し物などで、参加者全員と同額の会費を負担する場合を除く）
- お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- 年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状（答礼のための自筆は除く）

※地域で行われる行事等で、会費や実費の伴うものを案内する場合には、会費を必ず明示して通知してください。



政 務 活 動 費 収 支 報 告 書 等 公 開 中

令和6年度政務活動費の収支報告書、領収書等を市議会ホームページで公開しております。

また収支報告書、領収書、視察報告書およびその他使途に関する資料を議会事務局内で閲覧することができます。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047（366）7381



政務活動費とは

法令、条例で定められた経費として、議員の調査研究、その他必要な経費の一部に充てるため、会派および議員に対して交付されております。

松戸市では、各会派経理責任者等で構成する経理責任者等会議において、調査研究および政務活動費を充てることができる範囲について協議を行い、収支報告の際は、規程に基づく領収書（またはこれに準ずる書類）などを添付し、使途の透明性に努め、適正な運用を行っております。

委員会の審査から

6月27日・30日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここでは、その審査の中で一部の質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

※なお6月25日に開催した庁舎整備に関する特別委員会、27日に開催した健康福祉常任委員会、30日に開催した建設経済常任委員会では、議案等の審査がありませんでした。

総務財務 常任委員会

議案第4号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第3回）

問 市長の給与の減額は、他の特別職や一般職員に対して、影響を与える意図はなかったのか。

答 市長の現在の任期に関わる期間の給与を減額するものであり、他の特別職や一般職の給与に関して減額は考えていない。

問 リーディングDXスクール事業について、指定校の取り組みをどのように市内小中学校に共有するか。

答 まずは指定校の教職員が全国の先進校に赴き、

実践事例の視察を行う。その後視察で学んだ内容を自校の授業実践に取り入れ、授業研修会として公開をする。それに伴い、講演会や研修会等も予定している。今後市としてどのように取り組んでいくかについては、本年度指定校の実践を精査し検討していく。

問 新型コロナウイルスの副反応や安全性に関する情報は、市民にどのように周知しているのか。

答 昨年度の実績で申し上げると、市民向けの情報提供として、厚生労働省作成のリーフレットを制度内容・副反応の発生時の対応とともに、周知材料として活用した。

教育環境 常任委員会

議案第8号 契約の変更に
ついて

問 原材料や労務単価等の高騰による、1教室当たりの単価への影響を伺う。

答 1教室当たりの年間維持管理費は、労務単価が含まれ、修繕費等を総合し、室内機1台当たり8200円、室外機1台当たり9万3800円である。

問 本事業は性能発注だが、契約通りの性能が発揮されなかった場合、その改善費用は契約先事業主の負担となるのか伺う。

答 PFI事業は発注者の意図を明確に民間事業者

問 例年の猛暑に鑑み、本議案の提出時期を早めることはできないか伺う。

答 空調設備の整備については、前年度各学校からの要望を受け、ヒアリング後に当初予算で予算措置し、4月当初の教室配置で決定し整備している。議案の提出は、条件が整えば秋でも可能と考えている。

委員会名簿

委員会構成に変更がありました。

総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会	議会運営委員会	庁舎整備に関する特別委員会
◎ 伊東 英一 ○ 大和田 太郎 田中 睦生 芦田 E 春 D 鈴木 明 大谷 範 宇津野 行 二階堂 剛 箕輪 矢 市川 恵一	◎ 岩瀬 麻理子 ○ 中村 典裕※1 石塚 舞 嶋原 薫 増田 聡 鷹野 尚 松尾 児 大山 正 高橋 伸 石井 勇	◎ 橋本 博斗 ○ 大瀬 優新 嶋村 一文※2 湯浅 幸枝※1 竹内 光利 柿沼 昌子 井出 剛士 渋谷 鈴子 藤原 正幸 末松 裕人	◎ 鈴木 大介 ○ 飯簀 公明 丹呉 顕子 ミール 計恵 戸張 友子 岡本 昭 西田 二 原善 裕 杉由 能 深山 一	◎ 石井 勇 ○ 織原 正幸 大和田 太郎 ミール E 計 D 鈴木 理 岩瀬 博 大飯 公 箕輪 信 末松 裕	◎ 末松 裕人 ○ 飯簀 公明 ミール 計恵 岡本 智昭 鈴木 善裕 西田 伸一 原高 橋川 市深 山能

◎委員長 ○副委員長 ※1 変更があった委員 ※2 新たな委員 (令和7年6月18日現在)

一般質問

6月定例会では、6月19日・20日・23日・24日・25日の5日間にわたり、35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

災害に強いまちづくり について

公明党
鈴木 智明

問 能登半島地震では、石川県内の全市町村が導入した共通の被災者支援システムにより被災者への迅速な生活再建支援が可能となった。本市でも迅速な被災者支援体制の構築に向けて、千葉県が推奨する共通仕様の被災者支援システムを導入する。

災害支援システムを導入する考えはないか伺う。

答 本市の被災者支援システムは、導入後、相当な期間が経過しており、市単独システムのため広域での支援に対し迅速な対応が難しいこと、住家被害認定調査等がデジタル化していないこと等、さまざまな課題がある。大規模災害発生時にいつでも対応できるよう、県推奨の当該システムを含め検証し、早期に効率的なシステムを導入する。

旧松戸法務総合庁舎解体工事 について

公明党
伊東 英一

問 ①解体工事第1期・第2期の施工範囲は②トラックの走行経路となる国道6号と工事箇所との間に相模台小学校や第一中学校があるが、どのような安全対策を施すのか伺う。

答 ①第1期は建物地上部の

解体と樹木の伐採等である。第2期は第1期で残置した建物の基礎やくい等の解体撤去を予定している②児童生徒の朝の登校時間帯には、工事車両の出入りを原則行わない計画である。また出入り口に午前8時から午後5時まで警備員1人を常駐させる。児童生徒の安全対策は最も重要であることから、工事車両における制限速度遵守の徹底を図る等、適切な施工管理を行い、安全に工事を進めていく。

市立松戸高校について

市民クラブ

広瀬 優斗

問 近隣市が校庭の人工芝化を進める中で、本市も市立松戸高等学校の人工芝化を推進していくべきと考えるが見解を伺う。

答 さまざまな高等学校がある中で、受験生に選ばれる学校を目指すには、グラウンドの人工芝化の可能性を研究していく。

工芝化は有効な手段の一つと認識している。しかし課題もあり、現在のグラウンドは、トラック一周の長さが400メートルに足りず、仮に整備する場合、トラックを400メートルにすることが前提となる。その場合、敷地の形状からテニスコート等の撤去や、部室、倉庫の移設等、他の運動施設への影響が想定される。課題はあるが魅力ある学校づくりを推進するため、人工芝化の可能性を研究していく。

新拠点ゾーンと市役所移転 建て替えについて

日本共産党

ミール 計恵

問 市長の公約である「市役所移転計画白紙撤回」とは、現地で建て替えを進めるということなのか。また「市役所移転計画白紙撤回」後のスケジュールについて伺う。

答 現在の移転を前提とした

新庁舎整備基本計画の策定を一旦中断させ「これまでの検討経過も含め、一度立ち止まって内容を精査し、市民の皆様に対する十分な情報公開のもと、一定の方向性を定めていく」ことを「白紙撤回」と申し上げた。この考えに基づき、まずはプロジェクトチームを立ち上げ、移転建て替え、現地で建て替えの費用面等を比較検討し、できるだけ早い段階で新庁舎の整備方針を判断したい。

市長の政治姿勢について

無所属

湯浅 文

問 市立総合医療センターに関して、病院事業の問題をどう認識しており、どの程度まで再建するのか。また検討チームを立ち上げ、令和7年9月ごろまでに方向性を示すとされているが具体的なスケジュールを伺う。

答 経営再建は喫緊の課題で、一刻の猶予もない状況と認識している。持続可能な経営を実現するためには、毎月の給与費等を踏まえ約20億円の運転資金を常に確保する必要がある。病院事業においては収益改善および人員配置の適正化等に取り組み、収支計画を見直すとともに、経営再建プロジェクトを立ち上げ、早急に検討を進め9月ごろをめどに経営改革の方向性やスケジュールを示したいと考えている。

市民への情報発信の 更なる向上について

公明党

井出 昌子

問 「松戸市公式LINE」の「お役立ち情報」から移動できる市ホームページ「助成・手当」のページは、掲載されていない助成制度等があり情報の更新も十分ではない。そのため全ての助成制度等を体系的に網羅

し、かつタイムリーに更新する考えはないか伺う。
答 各種助成制度が次々に制定される中、ホームページ「助成・手当」ページへの掲載が間に合っていないことが課題となっている。今後は、これまで分類していた情報カテゴリーを細分化し、分かりやすい体系に整理するとともに、適宜最新情報に更新し、市民にとって適切な情報をスピード感をもって発信していく。



子育て家庭の孤立防止 について

市民クラブ

鈴木 大介

問 こんにちは赤ちゃん事業について、育児疲れや孤立感が深まりやすい生後半年から1年の時期における、再訪問や見守りの構築について考えを伺う。

答 生後半年から1年の間における支援体制として、経過観察となった家庭への電話相談や再訪問等、継続的なフォローアップを実施している。また生後6・7カ月、9・10カ月児を対象とする乳児健康診査は受診率が9割を超え、声なき声を捉える貴重な機会であることから、医療機関と連携し支援や見守り等フォローアップの一助としている。育児疲れや孤立感が増している家庭に対し、確実に支援が届くようこれらの事業を通じて支援体制の再構築を進めていく。

市庁舎の建替えについて

無所属

鴈野 聡

問 仮庁舎方式による建て替えを検討するかどうか伺う。

答 これまでの移転建て替え案は新庁舎完成までの間、市役所現本館・新館を現状のまま運用するものである。しかし大地震の予測が困難な中、耐震性が

不足する現本館・新館は市民・職員の安全を最優先に早急に対処する必要があると考える。まずは移転建て替えと現地で建て替えの費用面での比較検討を行うと説明しているが、建て替えに至るプロセスには仮庁舎の検討も含め、さまざまなかえ方があることは承知しており、同時並行で考えていく必要性を感じている。早い段階で一定程度の方向性を示すことを念頭にスピード感をもって対応していきたい。

新松戸駅前周辺の治安 について

まつどみらい

田中 睦生

問 留学生、外国人就労者への公共マナー等の周知として、転入時の手続きや留学生の学校での集団授業等、本市における新たな生活が始まるタイミングでの対応、アプローチが必要と考えるが市の対策について伺う。

答 基本的な行政サービスや生活上のルール、マナー等を記載した「松戸市生活ガイドブック」を六つの言語で作成し、市民課や各支所の窓口で配布している。今後については、市内7カ所の日本語学校やNPO法人による日本語教室の他、特定技能外国人を雇用する事業所等に、本市からの情報提供の協力をお願いする等、周知を拡大していく。



女性の支援について

公明党

岩瀬 麻理

問 困難を抱える妊産婦による赤ちゃんへの虐待を防ぐ観点から、本市で相談ができる支援体制や、出産前後の居場所づくり支援について伺う。

答 妊産婦が子育て等の悩み、不安を家族や周囲に相談できな

いことで虐待等につながる恐れがあるため、孤立を防ぎ安心して子育てできる地域をつくることが市の使命と認識している。本市では妊婦・子育て世帯へ伴走型相談支援を進めているが、望まない出産等、配慮が必要な妊産婦については悩みを相談でき、安心して休息が取れる環境整備が急務と考えている。今後は困難を抱える妊産婦に限らず、誰もが地域のつながりを実感できる環境づくりを推進していく。

樹木の安全対策について

公明党

丹呉 顕子

問 神奈川県葉山町では、倒木による被害から町民の生命や財産を守るため、民有地の危険木の伐採費用を補助している。本市でも、台風や地震等の災害時に市民の命を守るため、補助を行う考えはないか伺う。

答 民有地の樹木が災害時に倒れ事故が発生した際、所有者の管理責任が問われることもあり、事故防止のため敷地内の樹木管理をしていただく必要がある。一方倒木を未然に防ぐことは行政としても重要であることから、市民による自主的な森林環境の維持や保全を促進し、樹木管理の意識向上を図ることが重要と認識している。今後葉山町等の補助事業を含む先進自治体の事例等を調査検討していく。

公立中学校の修学旅行について

無所属

柿沼 光利

問 令和7年度の修学旅行で大阪・関西万博行き先とした学校数は。また修学旅行を終えた生徒からは、どのような感想があったか伺う。

答 本年度、大阪・関西万博を修学旅行で訪問した学校数は、

中学校4校である。修学旅行をすでに終えた学校に感想を聞いたところ、生徒からは「貴重な経験ができて良かった」「世界のさまざまな文化や雰囲気を経験できた」「建造物に感動した」「映像や光を使った技術に触れ、驚きと感動があった」「IPS細胞の心臓が動いているのを実際に見て、これが人の手によって作られたものなのかと感銘を受けた」等の感想があった。



コンテンツ産業の方向性について

まつどみらい

石塚 裕

問 コンテンツ産業に対する本市のビジョン、方向性を伺う。

答 コンテンツ産業に対する起業面からの一貫した支援は、活力ある地域経済の実現のために重要と認識している。起業を考える方の課題に対応するため

「松戸スタートアップオフィス(MSO)」を設置し、起業前後の相談業務を行っている。また「MSO」を卒業したコンテンツ産業事業者は、1年以内に事業所を開設すると施設改修費や賃借料の一部を補助する「松戸市インキュベーション施設卒業企業支援補助金」の申請が可能である。こうした取り組みにより、コンテンツ産業事業者が生まれていることから、引き続き支援することが重要と考える。

飼い猫の屋内飼育の推進について

まつどみらい

岡本 優子

問 飼い猫の登録制度として、群馬県大泉町では「マイニャンバー制度」が導入され、他の一部自治体でも導入が進んでいる。迷子猫の早期発見や適正飼育の促進、地域環境の改善、屋内飼育を推進し、飼い主の意識向上

を図り、猫の健康と安全を守るためにも、飼い猫の登録制度を本市でも導入すべきと考えるが、見解を伺う。

答 本市としても、猫の健康・安全の保持や周辺の生活環境の保全のため、屋内飼育の必要性を認識しており、市ホームページやチラシにて啓発を図っているところである。一部の自治体で行っている飼い猫の登録制度については、今後の他市導入状況の動向を注視していく。

安全安心なまちづくりについて

公明党

芦田 満春

問 京成電鉄は京成松戸線に、ホームドア等のバリアフリー設備の整備をどのように考えているか。また本市が助成金等で支援する考えはあるか伺う。

答 京成電鉄からはホームドア設置の整備計画に京成松戸線

は含まれず、当面の間設置の予定はないと回答を得ている。また本市の支援として、ホームドアは1日当たりの乗降客数1万人以上、それ以外のバリアフリー設備は3千人以上の駅を対象として整備費用の3分の1の範囲内で補助を行っている。京成松戸線のホームドア設置を含め、公共交通機関におけるバリアフリー化の推進については、今後交通事業者と連携・協議を重ね、適切に対応していきたい。

矢切の耕地の保全について

政策実現フォーラム・社民

増田 薫

問 市長は巨大物流センター建設に反対し、耕地の保全に賛成との考えであるが、農家の後継者不足等課題がある中、どのように耕地を保全していくのか。

答 矢切地区は、農地等自然資源が豊富である一方、広域的

な幹線道路に近接し、多面的な特徴を有する地域である。そのため、一律に保全や開発を行うのではなく「農業・交流・産業」が相乗的に地域振興に寄与する土地利用が必要と考えている。矢切農地の保全については、農業振興計画に基づき、多様な担い手の確保等の施策に取り組んでいきたいと考えている。地域の持続的発展に資する、より良い土地利用が図られるよう、引き続き取り組んでいきたい。

市長の目指す

松戸市政について

政策実現フォーラム・社民

工藤 鈴子

問 市長の選挙公約に、防災・減災の推進がある。東日本大震災の経験から、原子力発電所と災害対策は深い関わりのあることは否定できない。周辺住民の避難計画を立てる等、防災・減災と老朽原発の再稼働との関

係性、対応の具体化をどのように考えているか伺う。

答 原子力災害にあつては、市民の安全が最優先事項であるが、過去に放射能による土壌汚染といった、原子力災害の影響を受けている経緯もある一方、電力供給の恩恵にあずかる立場でもあることから、再稼働の是非については、国のエネルギー政策や発電所の立地自治体の意向等を尊重しながら、総合的に判断がなされる事項だと考える。

学校施設整備について

公明党

飯箸 公明

問 市立小中学校体育館の床の適正管理と張り替えについて、現状と今後の方針を伺う。

答 学校施設では、耐震化工事や教室の空調設備の整備等、安全で安心して施設を利用できるように取り組んでいる。しかし

大半の学校施設は建築年数を重ねており、体育館の床にも不具合がみられる箇所がある。学校では教職員が使用前の安全確認と月1回の定期点検を行い、教育委員会では毎年職員による施設点検を実施し、不具合があれば、専門業者による部分補修を行い適正管理に努めている。床の全面張り替えは、他の大規模改修工事等の状況に鑑みながら、検討していきたい。



松戸市斎場について

政策実現フォーラム・社民

原 裕二

問 松戸市斎場の年間火葬実績は、火葬能力と稼働日数を基に試算すると、既にピークに近づいており、今後の需要増を見越すと、今の能力では足りないと考え、火葬炉の増設について市の考えを伺う。また現状

の火葬待ち短縮のため、ピーク時だけでも、友引の日の火葬を行う考えはないか伺う。

答 施設の長寿命化を進めているところであるため、現状の10炉を維持し運営を行いたいと考えている。また現在休館日としている友引の日については、火葬を実施している近隣先進市の事例を参考に、火葬枠の需要に対し、必要な増枠を可能とするための最適な方策について、引き続き検討を進めていく。

常盤平団地地区について

市民クラブ

箕輪 信矢

問 常盤平団地地区の再開発への取り組みを進めていると認識しているが、今後どのようなロードマップやタイムスケジュールを考えているか伺う。

答 常盤平団地の将来に対するUR都市機構と団地住民との

意見交換については、市も参加し意見を聴きたいと考えている。また常盤平地域のまちづくり方針の実現に向け地元協議会を立ち上げ、関係者と意見交換を行い、常盤平地域のまちづくり計画の素案を作成していく。さらに令和7年度に予算化した気運醸成事業等を展開し地域再生に対する気運を高めたいと考えている。今後もUR都市機構の動き等とも連携し、適当な時期に適切な情報発信に努めていく。

孤独・孤立対策の強化
について

公明党

織原 正幸

問 孤独・孤立対策推進法に基づく推進体制の担保のため、本市の「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」および「孤独・孤立対策地域協議会」設置について考えを伺う。

答 孤独・孤立対策の推進体

制は、福祉や子育ての分野等で相談や支援に携わる関係者が参画する協議機関等において、課題や取り組み状況の情報共有や分野間の連携を図っている他、状況に応じて支援が必要な方への具体的な対応を協議する体制も整えている。現時点で新たな組織を設置することは考えていないが、今後も国の動向や他自治体の事例等を注視しながら、必要に応じて効果的な体制の在り方について検討していく。

「ゆめいろワゴンバス
高塚新田コース」について

市民クラブ

西田 善昭

問 市内2例目となる高塚新田地区のコミュニティバス運行開始に至る経緯について伺う。

答 地域住民の強い移動ニーズを受け令和4年3月に地域組織が立ち上がり、本年度中の実証運行開始に向け準備を進めて

いる。他地域でも参考となる点は3点あり、1点目は安全性等を重視した運行ルートの検討と集約。2点目は車両や運賃のサービス水準に関する現実的な取捨選択。3点目は地域主体による、地権者や沿線地域との合意形成の積み重ねである。こうした取り組みにより、実現可能性と持続可能性を重視した検討と合意形成が進み、本年度の開始を予定している実証運行に着実につながったものと考えている。

基金について

政策実現フォーラム・市民

DEER

問 公共施設再編等を見据えて特定の目的のために基金を設置し、積み立てる考えはないか。

答 特定の事業や施策に対し、安定的かつ計画的な財源確保が図れる点では、将来的に必要となる可能性がある」と認識してい

る。一方で特定目的基金の創設は、性質上用途が限定されるため、社会経済情勢の変化等に応じた柔軟な運用が難しくなる側面がある。さらに特定目的基金を複数創設した場合、それぞれの基金に財源が分散され、財政全体として機動性が損なわれる恐れもある。こうした状況を踏まえ、まずは柔軟かつ安定的な運営を最優先とし、汎用性の高い財政調整基金を活用した上で、計画的な財政運用に努めていく。

高齢者つながり協力員事業
について

無所属

戸張 友子

問 高齢者つながり協力員事業と、名称変更前の高齢者支援連絡会との違い、および期待する効果について伺う。

答 これまで高齢者支援連絡会として、地域の見守り活動等を実施してきた。これらの活動

を拡充すべく、高齢者つながり協力員として、各地域包括支援センターが活動を支援する体制に見直しを行った。また体制の見直しにより、高齢者つながり協力員が見守り活動等の中で、支援が必要と思われる方を把握した場合、相談がしやすい体制となることや、高齢者つながり協力員が、地域活動を行う関係者と、協同しやすい体制になること等への効果が期待している。



学校教育の改善に向けて

日本共産党

嶋村 新一

問 公立小中学校では、不登校の児童生徒数が10年前に比べ3倍に急増しているが、不登校児童生徒の保護者への支援について、本市の考えを伺う。

答 不登校で悩みをもつ保護者を対象に相談窓口としての受

理面談を入り口として、その後も継続的に教育支援センターで教育相談を行い、悩みに寄り添った支援を行っている。市立小中高等学校においてもスクールカウンセラーを全校配置し相談体制を整え、訪問相談員等による巡回型支援も行い、不登校児童生徒と保護者の心のケアや困り感に寄り添った支援に努めている。引き続き不登校児童生徒の実態を把握し、ニーズに合わせた支援体制構築を進めていく。

魅力あるまちづくり
について

公明党

高橋 伸之

問 本市の魅力を引き出し市内外にアピールすることで、街のブランド力向上等につながる映画やドラマ等の撮影を一元化してロケーション支援を強化すべきと思うが市の考えを伺う。

答 近隣市のロケーション支

援は、ロケ地の紹介や撮影への同行の他、撮影許可に関する申請手続きのサポートやエキストラの公募等、幅広い対応を行っている」と聞いている。こうしたロケーション支援が本市の魅力発信や地域経済の活性化につながる」と認識しており、今後支援体制の構築や民間事業者の活用等を含め市内事業者や松戸市観光協会、関係課と連携しロケーション支援に必要な体制について検討していく。

避難所について

市民クラブ

中村 典子

問 近隣市ではミルクや離乳食の備蓄を導入しており、免疫力が低く食べられるものが限られる赤ちゃんへの緊急時における対策は、早急に取り組むべきだと考えるが本市の考えを伺う。

答 避難所におけるミルクや

離乳食の備蓄は乳幼児を抱える保護者にとって非常に重要な課題だと認識している。ミルクは、災害時応援協定により流通備蓄の活用を通じ供給可能な体制を整えている。離乳食は、1歳未満から年配の方まで利用可能なおかゆを備蓄している。その他の離乳食については他市の先進事例を参考にし、子育て世帯が乳幼児と安心して避難生活ができるよう環境改善を推進していく。



子どもの発達に係る
切れ目のない支援について

市民クラブ

大和山 太郎

問 子ども部に令和6年度にできた「発達支援担当室」の設置目的と現状について伺う。

答 発達障害や支援ニーズをもつ子どもが増加し、保護者の不安が高まる中、その支援は医療、福祉、子育て、教育の各部

門が所管しており、横の連携が課題となっていたため、部門間の調整を目的に発達支援担当室を設置した。相談できる環境を整えるため、7年5月より発達支援担当室に「みらいのとびら」を設置し、心理士と保育士が専門的知見を活かしたアドバイスを提供している。窓口に寄せられる複雑かつ多様な相談に対し、支援方法等を提案する他、状況に応じ福祉長寿部や教育委員会と連携し支援につなげている。

学校運営について

政策実現フォーラム・市民

竹内 幸枝

問 ①学校保有の個人情報保護を目的の外利用しなければ、PTA非加入者を特定することはできない。個人情報保護の目的外利用が法令違反であることを、教育委員会では認識しているのか伺う②

学校が寄付を受けるにあたり、

地方財政法に抵触しないよう指導し、寄付採納手続きを漏れなく行っているか伺う。

答 ①個人情報の目的外利用については把握していないが、法令違反に当たると考えるため、そのような運用が行われないよう、学校に指導していく②毎年5月に全小中学校に向けて、注意事項や手続き方法を説明している。寄付の話を受けた場合には、事前に教育委員会へ相談するよう指導している。

外出の支援について

日本共産党

山口 正子

問 多胎児以外の就学前の子どもがいる子育て世代に対し、まずは乳幼児の健康診査時におけるタクシー利用料金の助成を行う考えはないか伺う。

答 乳児期は健康診査や予防接種等による医療機関への受診

の機会が多く、乳児と一緒に外出する際の保護者の負担は大きいことから、一定のニーズはあるものと考えている。今後の多胎児以外の子育て世帯へのタクシー利用料金の助成については、子育ての中で、移動の支援を必要とする方が確実に利用できるよう、対象範囲の拡大について検討するとともに、現在実施している助成事業の周知啓発に努め、引き続き子どもたちの健やかな育ちに寄与していく。

北小金駅周辺のまちづくりについて

市民クラブ

市川 恵一

問 ①北小金駅北口側再開発について市長の考えを伺う②令和7年度の北小金駅北口側再開発の進め方を伺う。

答 ①北小金駅北口は、本土寺参道に賑わいがない、駅前にバス等乗降場がない、駐輪場の

点在等多くの課題を抱えていることから、本土寺の玄関口にふさわしい魅力づくりや、交通利便性の向上等さらなる土地の有効活用等の検討を進めている。今後も小金のまちの魅力を高め、賑わいと活気あるまちづくりを進めていく②7年度は、6年4月に発足した北小金駅北口のまちづくりを考える会の発起人会の活動を支援するとともに、駅前広場や道路網の整備等公共施設の配置検討に着手していく。

病院事業について

無所属

二階堂 剛

問 市立総合医療センターは、民間医療機関では採算面での負担が大きい医療を政策医療とし、市から繰出金を受けているが、地方公営企業としての独立採算の原則から収入、収益確保策等が行われているか伺う。

答 現在の収益確保策として、緊急入院を増やすため二次救急に積極的に応需できる体制整備を進めている。また紹介患者の増加に向け医師会との意見交換や近隣医療機関への営業強化等を行った結果、令和6年度の紹介医療機関数は前年度比82施設、紹介患者数も140人増加した。また地域向けのパートナー講座の充実等により、顔の見える関係を築くことで当院を選んでもらい、収益確保につながっていく。

市長の政治姿勢について

日本共産党

宇津野 史行

問 前市政の何を問題と捉え、変える必要があったと考えているか。また市庁舎移転の白紙撤回を広報まつどに掲載する考えはないか伺う。

答 前市長との路線の明確な対比として、選挙公約の実現に

向け、行財政改革の視点から見直すべきものは見直し、市民の信頼を得るため、情報公開が重要と捉えている点が違いと認識している。また市民へスピーディーかつ的確に情報提供ができるよう、新庁舎整備や新松戸駅東側地区土地区画整理事業等の進捗状況についても、定例記者会見で自身の言葉で発信し、広報まつど、市ホームページ、SNS等の媒体の活用等、広く丁寧に説明責任を果たしていく。

市長の公約について

無所属

嶋原 舞

問 地域の歴史や住民の思い、そして長期的に暮らす方と中長期滞在の外国人の方との意識の違いをどのように考えているか。

答 個々の文化や習慣等の違いにより、市民の思いや意識には多様性があると認識している。

総務省による「地域における多文化共生推進プラン」では外国人住民を地域社会の一員として受け入れ、人の交流やつながり、助け合いを充実するための環境整備の実現が示されている。本市においては「松戸市多文化共生のまち推進指針」に基づき、多文化共生施策を推進している。ただし市民の不安の声も受け止めており、地域の声を聞いて現状を把握し、情報提供や相談体制の強化を進めていきたい。

新庁舎整備について

まつどみらい

大橋 博

問 これまでの議会との議論の経過を踏まえ、立ち止まることなく新庁舎整備を前に進める考えに変わりはないか伺う。

答 新庁舎整備が喫緊の課題であることは十分認識しており、スピード感をもって事業を進め

ていく考えはこれまで同様、変わることはない。一方で新庁舎の整備方針については、これまでの検討経過も含め一度立ち止まって内容を精査し、市民に対する十分な情報公開のもと、早い段階で一定の方向性を定めていくことも必要と考えている。これから行う検討に当たっては、これまでの議会との議論の経過もあるため、引き続き市民に対する説明責任を果たしつつ、議会とともに、事業を進めていく。

会派別一覧

会派構成に変更がありました。
松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

(令和7年6月18日現在)

市民クラブ 14人	公明党 10人	政策実現 フォーラム・社民 5人	日本共産党 4人	まつどみらい 4人
◎ 末松裕人 ○ 石井優斗 大瀬太郎 西田昭子 中大健児 大谷茂範 鈴木大剛 渋谷信士 箕輪由一 杉山恵能 市川山	◎ 飯箸公明 ○ 高橋伸之 芦田満 丹呉子 井出子 井出子 鈴昌 岩智 松尾麻 伊東英 織原正	◎ D E L I ○ 原 裕 二 竹 内 枝 増 田 薫 工 藤 鈴子	◎ 宇津野 史 行 ○ ミール 計 恵 嶋 村 新一 山 口 正子	◎ 大橋博 ○ 石塚裕 田中睦 岡本優
		無所属	無所属	無所属
		湯 浅 文	柿 沼 光 利※ ¹	嶋 原 舞
		無所属	無所属	無所属
		戸 張 友 子※ ¹	鷹 野 聡	二階堂 剛※ ¹
議員数合計 43人				
◎ 幹事長 ○ 副幹事長 ※ ¹ 変更があった議員 ※ ² 新しく当選された議員 (令和7年6月1日 松戸市議会議員補欠選挙)				

松戸市議会の情報を
ホームページで
公開しています。



議会中継

松戸市議会 🔍 検索

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」から、お手持ちのパソコン、スマートフォンおよびタブレット型端末等でご覧いただけます。

議会傍聴について

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047 (366) 7381

9月定例会の開催予定

令和7年松戸市議会9月定例会は、9月5日（金）から9月30日（火）まで、いずれも午前10時より開催する予定です。
請願は、8月27日（水）正午が提出期限です。

日程	主な内容
9月5日（金）	招集日・本会議（議案提案理由説明）
8日（月）	本会議（一般質問）
9日（火）	本会議（一般質問）
10日（水）	本会議（一般質問）
11日（木）	本会議（一般質問）
12日（金）	本会議（一般質問・議案質疑）
16日（火）	総務財務常任委員会
17日（水）	健康福祉常任委員会
18日（木）	教育環境常任委員会
19日（金）	建設経済常任委員会
22日（月）	決算審査特別委員会
24日（水）	決算審査特別委員会
25日（木）	決算審査特別委員会
26日（金）	決算審査特別委員会
30日（火）	本会議（議案等の採決）

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。

市内在住の障害者手帳（視覚障害）をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合は、以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL 047 (383) 7111

「声の議会だより」ができるまで



①音訳者打ち合わせ



②朗読を録音



③校正・編集



④CD作成・貸し出し



マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

編集の窓



今年は戦後・被爆80年、本市が「世界平和都市宣言」をしてから40年目の夏を迎えています。本市では感受性が最も豊かな中学生の時期に、平和を体験から学んで欲しいと「平和大使長崎派遣」事業を2008年から実施しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の2年間を除く、15年間で300人を超える市内の中学生が8月9日の長崎での平和記念式典に合わせて、2泊3日の平和学習に参加しています。

現地では原爆資料館などの見学に加え、青少年ピースフォーラムに参加するなど、密度の高い体験や学習をしています。

帰庁後は報告会、戦没者追悼式への参加や感想文の執筆など、平和学習から感じたことや学んだことを言葉にし、メッセージャーとしての役割を十分果たします。

6月定例会でも、平和学習をさらに進めることを求める質疑が交わされました。議会も松戸新市長とともに、これからも未来へ平和をつなげる努力をしてまいります。

議会だよりの編集を担当しています
広報委員会

委員長 中村典子
副委員長 田中睦生
委員 嶋村新一
芦田満春
丹呉顕子
広瀬優斗
大和山太郎
増田善薫
西田善昭
高橋伸之

次回発行予定は11月1日（土）です